

研 修 報 告 書

(秋田県社会福祉士会)

研 修 名	平成 26 年度 小さな勉強会 in 能代
日 時	平成 27 年 2 月 21 日 (土) 14:00~16:30
会 場	能代ふれあいプラザ 2 階 集会交流室
参加者数	12 名
内 容	<p>《テーマ》 「ピアスーパービジョン」</p> <ol style="list-style-type: none">1、開会挨拶 青年部会長 米田 浩一2、ピアスーパービジョンについての説明3、アイスブレイク4、事例提供 「認知症による意欲低下が見られている方の支援」 大館市地域包括支援センターおおたき 町井 脩徒 様5、ピアスーパービジョン・グループスーパービジョン6、発表7、事例提供者より8、講師より 大館市特別養護老人ホームつくし苑 能登谷 直美 様9、総括 大館市特別養護老人ホームつくし苑 片山 貴博 <p>事例は、「認知症による意欲低下が見られている方の支援」と題し、地域包括支援センターの事例を提供して頂く。</p> <p>ピアスーパービジョンは、2つのグループに分かれ実施。1つのグループは、グループスーパービジョンに近い形態で実施する。</p> <p>どちらのグループも、ピアの視点である「できているところ、よいところ、これから伸ばしてほしい能力」をもとに話し合うことができた。</p> <p>2つのグループより発表を行い、事例提供者のできている部分を肯定する発言や、前向きな発言が多く見られた。また、社会福祉士の専門性に基づいた助言や、地域の社会資源を活用する提案もあり活発な発表になった。</p> <p>事例提供者からは、「事例発表をする前は、自分の支援に自信が無かった。発表後は、自分が今できている部分、これから伸ばしていく部分の確認ができた。」と気づきや変化があった。</p> <p>事例提供者と参加者が、ピアスーパービジョンの重要性を学び、自分の支援を振り返るきっかけになった。</p>
所 管	青年部会「わっか」

研修報告書

